

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社イデキュー
2 貴社の取組状況について	
(1)男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景	
・育児・介護休業法の改正等の社会情勢に加え、男性社員からの育児休業取得ニーズもあったため、仕事と育児を両立できる職場環境整備が必要と感じた。	
(2)男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組	
・就業規則の改正、制度の周知。	
(3)取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点	
・取得者の職場理解が必要と考え、所属長が職場メンバーへのフォローを実施。	
(4)取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと	
・休業中の業務遂行に支障がない様、取得者と職場で業務遂行体制を整えた。	
(5)定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください	
・育児休業取得の感想を社内で共有したい。	

1 育休取得期間	通算 28 日間
2 育児休業の取得について	
(1)育児休業を取得したきっかけ	
男性の育児参加が求められている事は常々感じており、育休の取得は妊娠が分かった時点で考えていました。知人や様々な媒体での体験談を参考に、まずは1か月の取得にしました。(第一子)	
(2)育児休業を取得して良かったこと	
出産直後の妻の身体的・精神的な負担を少しでも軽減できたこと。集中的に育児できたことで、妻の育児に対する考え方との差を埋められました。	
(3)育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点	
引継ぎリストと、ひな形の作成。緊急・トラブル時の連絡先の共有。	
(4)育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること	
属人的な業務の低減。残業時間の短縮。	
(5)これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス	
出産直後のケアだけでなく、日々の業務の棚卸にもなります。育児休業は必ず取得すべきです。	

【対象従業員記載欄】

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。

なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。